

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870102997
法人名	医療法人岡本医院
事業所名	グループホームみつはま
所在地	愛媛県松山市住吉2丁目2番21号
自己評価作成日	平成21年8月20日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年9月3日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>グループホームみつはまは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつもいっしょ ・同じ屋根の下で ・心と心でいきましょう ...をスローガンに、入居者の方々とスタッフが仲良く、助け合って生活していくことを大切に努めています。 <p>母体は岡本医院であり、24時間往診も可能です。皆さん先生を信頼し、安心して生活されています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所で食事作りをされており、職員は、利用者に食べたいものをお聞きしたり、夏場等その日の気温等も考慮しながら、食べやすく「バランスのよい食事作り」に心がけておられる。誕生日には、ちらし寿司や近所の仕出しを注文してお祝いをされている。</p> <p>事業所独自で「看とりのプロセス」を作成し、その中には「家族に対してのケア」も示されている。事業所で看取られた際、終末期、医師とも密に連絡を取り合い支援された。ご家族も頻りに訪れ、相談しながらご本人の体調の良い時にお好きな果物やアイスクリームを口にできるように心遣いされたり、安楽な体勢や過ごし方に配慮する等、状態を見ながら、ご家族とその都度「ご本人にとってどうすれば一番良いか」相談し支援された。亡くなられた際には、利用者の方々も一緒にお見送りをされた。</p>
--

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない 	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない 	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない 	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない 	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない 	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目：30,31)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない 	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない 		<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームみつはま

(ユニット名) B

記入者(管理者)

氏名 宇野 明美

評価完了日

平成21年8月20日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 同じ屋根の下に住む地域の住民として、普通の暮らしを続けていけるように皆で支援に当たっている。 (外部評価) 「同じ屋根の下、互いを尊重し、認め合い、助け合い、楽しく生活する」という理念のもと「いつもいっしょ 同じ屋根の下で 心と心でいきましょう」をスローガンに掲げ、管理者は、地域を「大きな家族」として考え、その中で「普通に暮らせる事業所」でありたいと考え取り組まれている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 玄関には鍵をかけず、特別に目だつものも置かず普通の家のたたずまいにしており、地域の方と違和感なく暮らしている。 (外部評価) 食材や日用品等の事業所で使うものは、地域の商店で買うようにされている。お祭りには、お神輿が来てくれたり、幼稚園から学芸会や運動会に招待いただき、見学に行かされている。時には、近所の子供たちが、遊びに来てくれることもある。	管理者は、「事業所は特別な場所ではなく、自由に行き来できる場でありたい」と考えておられ、「事業所の思いを地域に発信する機会を作りたい」と話されていた。利用者が地域のいろいろな人達とかかわりながら、暮らし続けていけるような支援に取り組んでいかれてほしい。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 毎日の散歩をとうして、認知症になってもこのように普通の暮らしが続けられることを地域の皆さんにわかっていただけのように示していきたいと考えている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 利用者の方の生活の実際、スタッフの支援の姿を皆さんに報告し話し合いをおこなっている。住宅密集地にあるホームとして、防災に関する話し合いを何度か行い、地域の方との協力体制もできてきている。今回は、防火訓練を行った。</p> <p>(外部評価) 会議は、地域の広報委員の方や幼稚園の園長等にも参加いただき、それぞれの立場から活動を報告いただいたり、事業所からも看取りケアの実際について報告されたり、防火対策について話し合う等、毎回議題を決めて行われている。</p>	<p>管理者は、今後、さらに地域の方達の参加を増やし、事業所での取り組み等について地域からのご意見をうかがいたいと考えておられた。地域の方達に事業所の特徴や意義等をより知っていただきながら、地域からの要望等も探っていかれてはどうだろうか。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 利用者の方に関する相談ごとなどあれば常に連絡を取り相談させていただいている。事務的なことでも相談、確認などさせていただいている。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議では、ご家族から外部評価の項目について質問があり、第三者が行う評価の意義について理解を深めていただけるよう答えていただいた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 自由にその人らしくを大切に日々の支援に当たっている。身体の拘束をして自由を奪うことがいかにはならないことが常に話し合っている。その人その人の個性を大切に取り組みしており代表者もそのことはよくわかってくださっている。</p> <p>(外部評価) 管理者は、「利用者は、鍵をかけると逆に不安になり出たい気持ちになるが、開けておくと、いつでも出られると思うため、安心される。」と話しておられた。日中は玄関に鍵を掛けておらず、職員は、利用者を見守っておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待はあってはならないこと、常に話し合っている。以前暴言や無視という虐待をしていた者がいたが、代表者に報告、相談し辞めてもらったことがある。そういうことがないように努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 事業や制度について知ってはいるが、理解までは出来ていない職員もいる。実際にそれらの制度を利用には至っていない。問い合わせをしたことはあるが、実際、対象者が多くおり在宅で暮らされている方が優先となっているとのことであった。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用されようとするときの不安な気持ちを受け止め何でも話していただけるように相談に乗っている。解約に関しては遠慮はいらぬこと利用される方の思いが一番であり、その時は相談に乗ることお話ししている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 面会時、お便り、電話にて、その都度意見、要望をお聞きしている。 運営推進会議には家族の方みなさんに参加を呼び掛け出来るだけ参加していただいている。その時外部の方とも意見交換をしている。 (外部評価) ご家族に向けて毎月、利用者個別に手書きのお便りを作成してご本人の暮らしぶりや体調等を伝えておられ、ご家族への労いの言葉を添えておられる。事業所の忘年会時は、ご家族も参加されている。	管理者は、運営推進会議の後に、ご家族だけで話す時間を作りたいと考えておられた。入浴等、事業所の生活支援等についてご家族等、サービスを利用する側からもご意見をいただきながら、事業所のさらなるケアサービスの質の向上につなげていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価)</p> <p>運営に関する職員の意見や提案はよくあり管理者より代表者に意見を上げている。可能な範囲で反映できていると思うが、職員は、運営に関する会議で代表者と直接話し合う機会を望んでいる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員は、朝・夕の申し送りや、日中のちょっとした時間を利用してミーティングを行う等、職員同士で日常的に意見や提案を出し、管理者と話し合っておられる。</p>	職員は、法人代表者にケアプラン会議に参加してもらいたいと考えておられる。代表者、職員が一丸となって利用者の生活を支えていけるよう、話し合う機会を作ってはどうか。
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価)</p> <p>通常の勤務時間以上に働く必要があった場合、時間外手当がついている。 研修参加は、労働時間として取り扱ってもらっており時間外になった場合、時間外の手当がつくなどの環境・条件の整備あり。</p>	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価)</p> <p>法人内外の研修を受ける機会を認めてくださっているが、特に進めているというわけではない。</p>	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価)</p> <p>管理者や職員が、取り組むことに関して反対はないが、特に進めているわけではない。</p>	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価)</p> <p>不安なこと、解らないこと、してほしいと思っていることを何でも話していただけるように努めている。サービス内容については解りやすく説明し、本人のことに関しては、本人が話してくださることに耳を傾け必要以上に聞くことのないようにしている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>サービス内容を分かりやすく説明している。 困っていること、不安に思っていることを何でもお聞きし、安心していただけるように努めている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>相談を受けた段階で、ほかのサービスを受ける方法もあると思えば、そのサービスについてもお話し、ゆっくりと相談に乗って行くようにしている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>そのように努めている。食事の下ごしらえをしてもらったり、味見をしてもらったり、洗濯物をかたづけしてもらったり、不安な方に寄り添ってもらったり、お互い助け合って生活している。</p>	
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>面会時、お便り、電話にて、今の様子をお伝えし必要な相談をさせていただき、お互いに支えていく関係を築いている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>馴染みの人が訪ねてこられたら、遠慮なく過ごしていただけるように配慮している。訪ねて行きたい方があれば出かけたり、連絡して会いに来ていただいたりしている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>利用者は地元から入居となる方が多く、散歩や買い物時に顔馴染みの人に会うこともある。以前から利用している洋品店の方が、時々、ご本人に会いに来てくださることもある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) そのように努めている。 集団生活なので、もめ事もあるが、それは、普通の家族でもあることでもあり、お互いがいたわりあって生活していけるように支援している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院が長引いて利用が終了しても必要であれば今後のことについて相談に乗ったり支援したりしている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) そのように努めている。 月一回のケアプラン会議にて検討している。 日々の申し送り時気付いたこと、問題があればその都度対応している。 (外部評価) 職員は、日々の利用者の様子やかかわりを日々の記録に留め、ご本人の思いの把握に努めておられる。	現在、利用者の重度化が進み、思いや意向の把握にむつかしさを感じておられる。生活歴等の利用者のこれまでのこと等、又、現在の情報を分かりやすく残していけるようなアセスメントの工夫に取り組まれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 簡単な情報しか記録としてはないため(入居後解ってきた情報は、本人の日々の記録の中にうずもれてしまっており整理できていないものもある)新しい職員には把握できない点あり	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 現状の把握には日々検討し把握に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>そのように取り組んでいる。 健康管理・医療的管理については、主治医と相談し指示もいただきながら介護計画を作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>3ヶ月に1回、計画の見直しをされている。ご本人やご家族の意見を聞き取り介護計画に採り入れておられ、利用者がご自分でプランを作り、足腰を鍛えるために毎日階段の上がり降りをされているような方もいた。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>そのように取り組んでいる。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>充分とはいえないかもしれないが、そのように取り組んでいる。(カットサービスの利用,受診の付添い、緊急時対応、書類提出の代行など・・・)</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域の行事に参加したり、幼稚園の子供たちと交流させていただき楽しい時を過ごしたりしている。近所への散歩で皆さんと仲良くなり、顔とか様子を知っていただいている。地域の米屋、醤油屋、電気屋、クリーニング店など顔見知りあり。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
				そのように支援している。
			(外部評価)	
				利用者それぞれにご希望の医療機関を受診されている が、個々のかかりつけ医と代表者の医師は、常に連携 を図っておられる。訪問歯科を利用される方もおら れ、又、近くの皮膚科から往診に来て下さっている。
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
				その様に支援している。
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
				そのように行っている。
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
				そのように取り組んでいる。
			(外部評価)	
				事業所独自で「看とりのプロセス」を作成し、その中 には「家族に対してのケア」も示されている。事業所 で看取られた際、終末期、医師とも密に連絡を取り合 い支援された。ご家族も頻りに訪れ、相談しながらご 本人の体調の良い時にお好きな果物やアイスクリーム を口にできるように心遣いされたり、安楽な体勢や過ご し方に配慮する等、状態を見ながら、ご家族とその都 度「ご本人にとってどうすれば一番良いか」相談し支 援された。亡くなられた際には、利用者の方々も一緒 にお見送りをされた。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 訓練は定期的には行っていない。 急変に際しては、自分で勝手に処置することは禁止しており、まず、Dr(代表者)と管理者に連絡を入れ指示を受け対応することになっている。必要時Dr往診し管理者も対応することになっている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 運営推進会議にて、何回か災害対策について話し合った。地域との協力体制が出来てきている。 全職員が方法を身につけているとはいえない。今後も訓練の積み重ねが必要と思っている。	
			(外部評価) 管理者は、地域の防災訓練に参加され、地域の方々とともに災害時の訓練をされた。運営推進会議時、消防署の協力を得て、利用者も参加して夜間想定避難訓練をされ、出席者に訓練の様子を見ていただき感想をいただいた。近所の方から「何かあったら助け合いましょうね」と言っていたりしており、事業所の非常ベルが鳴ったら駆けつけてくれることになっている。	重度化が進んでいる利用者の方達や2階ユニットの利用者の方達も安全に避難できるよう、今後も協力者との話し合いや訓練を重ねていかれてほしい。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) そのように努めているが、職員全員が出来ているとはいえない。努力を続けていく必要あり。	
			(外部評価) 管理者は、「利用者一人ひとりの身になって、又、その人の気持ちに添った対応をする」ことの大切さを職員に話しておられる。職員は、「じっくり待つことを大切に」利用者とかかわっておられ、調査訪問時、職員は、利用者の言葉を聞きながらトイレに誘ったり、食事をすすめたりされている様子が見えた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) そのように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 出来るだけそのように支援しているが、今の職員体制では、困難なところもみられる。食事作り、入浴の介助などあり、職員側の都合が優先されてしまっている場合見られる。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) そのように支援している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 皆さん食事を楽しみにされている。職員は、利用者の方とおしゃべりもしながら食事作りしている。下ごしらえしてくださったり、味加減を見てくださる方もいる。	
			(外部評価) 事業所で食事作りをされており、職員は、利用者に食べたいものをお聞きしたり、夏場等その日の気温等も考慮しながら、食べやすく「バランスのよい食事作り」に心がけておられる。体調のすぐれないような方には、お粥にされたり、誕生日には、ちらし寿司や近所の仕出しを注文してお祝いをされている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 特に気を使って行っている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 朝、夕の口腔ケアは実施しているが、他は本人に任せている。ケアに拒否してしまう方もいる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	そのように支援している。	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	そのように取り組んでいる。	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	基本的に決めているが、その時の状態によったりタイミングに合わせての対応もある。	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	そのように支援している。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) そのように努めているが、十分ではない	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) みなさん 介護度の高い方が多くなり判断できにくい がそのように心がけている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) そのように支援しているが、自分では動くことのできない方が多い。	
			(外部評価) 近くの公園に出かけられたり、コンビニやスーパーに買い物に出かけることもある。又、ご本人の希望でお墓参りに職員が同行されたこともある。目の不自由な利用者は、ガイドヘルパーのサービスを利用して、茶道や華道のお稽古に通われたり、日曜日にはタクシーで日曜礼拝に行かれている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 希望のある方は、そのようにしている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) そのように支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>建物自体は、北欧の優しい色使いで刺激が少ないものである。室内には季節の花を飾り季節感を取り入れている。皆が過ごすところや廊下にイスやソファを置いている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>住宅密集地にあるグループホームで、窓を開けるとお隣が見えることもあり、観葉植物等を配して環境作りに配慮をされていた。居間の壁には、手作りの大きなカレンダーが貼ってあり、昼食後、利用者は、ソファでテレビを見たり、うとうとされたり、職員とおしゃべりしながら過ごされていた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>イスやソファが、所々にあり、自由に好きな場所で過ごされている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>皆さんそのようにされている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室の入り口には、ご利用者の似顔絵が貼られていた。居室には、使い慣れたタンスや、テレビ、ラジオ、冷蔵庫等を持ち込まれている方もあり、壁に、ご家族と一緒に撮った写真を飾っている方もあった。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>普通の家に近い造りなので自分らしく過ごしていけると思うが、反面車イスでのトイレ利用は不便である。障害のある方にとっては、暮らしにくい部分もあり。</p>	